

CASBEE® 広島

(2010年ver.1)

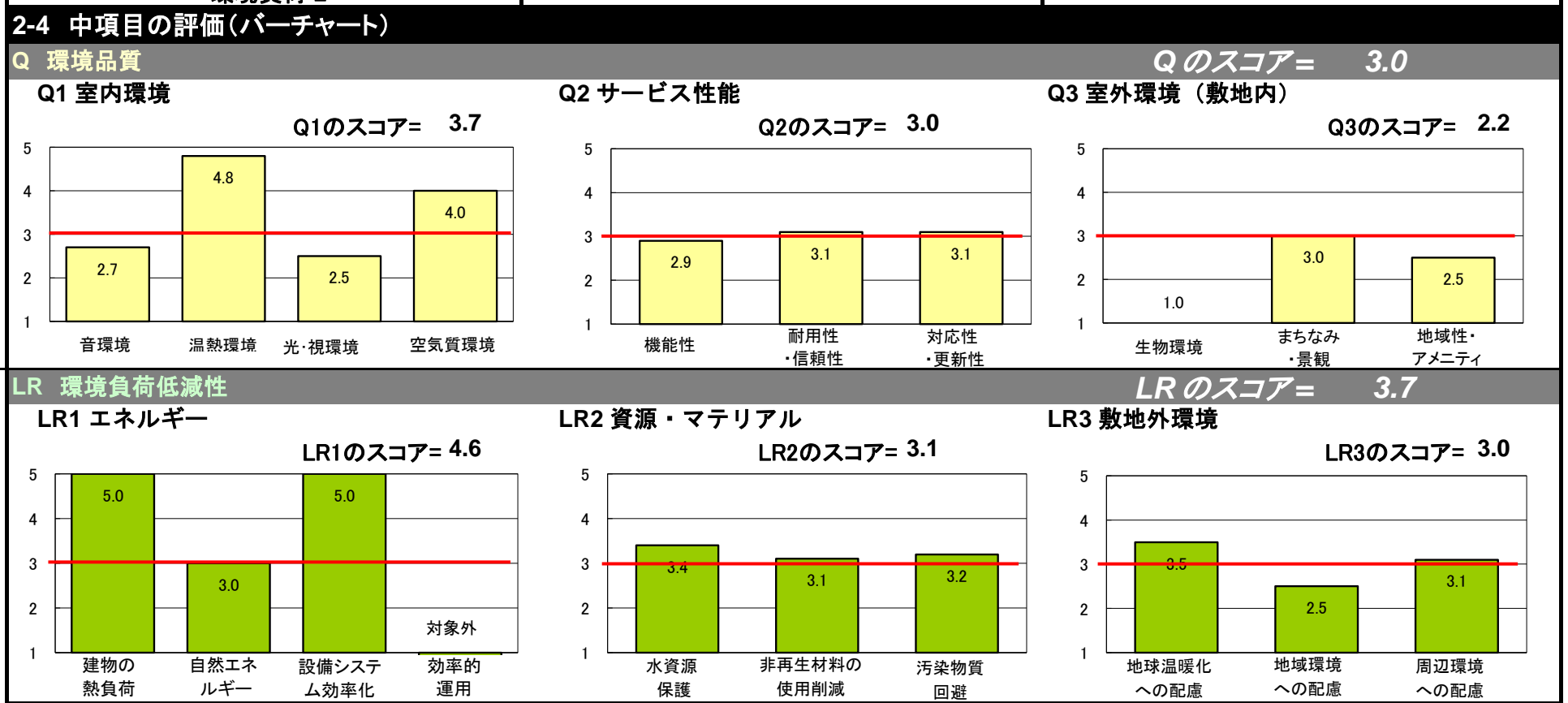
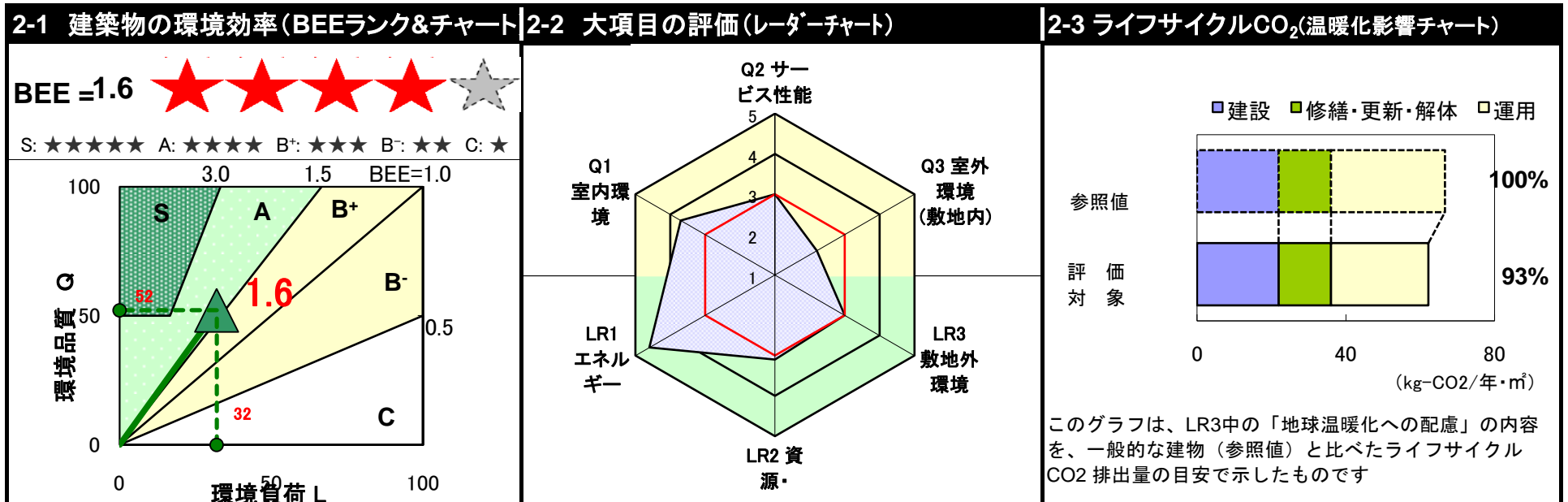
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンシティ大州	階数	地上9F
建設地	広島県広島市南区大州4丁目379-1	構造	RC造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	80人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年5月 予定	評価の実施日	2011年4月10日
敷地面積	987 m ²	作成者	高杉 勇治
建築面積	308 m ²	確認日	2011年4月11日
延床面積	2,310 m ²	確認者	柳田 誠二

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.6

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.0	スコア = 1.6	スコア = 3.2
設計の計画上特段に配慮した事項 省エネルギー対策等級を等級4にした。//電気CO ₂ 冷媒給湯器(深夜電力利用貯湯式)を使用した。//節水コマと節水便器を使用した。 外壁・1階床、壁・住戸玄関床にグリーン調達品目のタイルを使用した。//ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物と同等である。	設計の計画上特段に配慮した事項 //駐輪場を住戸の2倍の台数確保し路上駐輪を予防した。	設計の計画上特段に配慮した事項 外壁の大半をタイルを使用した。 B以上を2種類使用(接合部でEを使用)/主要構造部が傷つかないで修繕、更新が出来るようにした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される